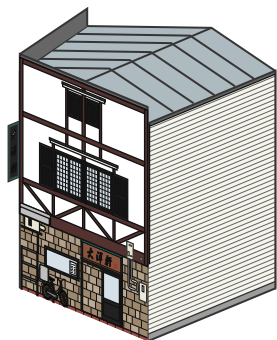


大洋軒

S ≒ 1/300



- ◆ 竣工年 | 不明
- ◆ 所在地 | 茅場町1丁目
- ◆ 業種・用途 | 中華料理店

両隣りをビルに挟まれて建つ木造3階家の（大洋軒）は、茅場町では古く、昭和40年から1丁目の裏通りに店を構える。証券取引所の立会場が廃止され、場立と呼ばれた証券マン達が姿を消したいま、朝10時に昼食を掻き込みに来る客も、ランチタイムの行列も、午後4時前にビルで一杯やり始める客もなくなつたが、店は金融の町の歩みとともにある。

以前は東西線の地下鉄職員の客も多かったそうで、麺類に半盛りの炒飯をつけて出す「半炒ラーメン」は、いまではどの店でも見かけるサービスだが、この店では昭和40年代から、彼らの要望で既に始めていたのだという。ラーメンは自家製麺の中太麺に醤油味のスープで、昔ながらと言つてしまえば有り体な表現になるが、究極や至福といった大袈裟な詞を冠した“達人”ラーメンではなく、日本人がある瞬間、無性にラーメンを食べたいと感じたとき一番に思い描くのは、多分この味である。

